

# 昼生小だより

令和6年9月18日 No. 11

## 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(木)に6年生を対象として行われた「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が、7月末に文部科学省から公表されました。本調査は「子どもたちの学力・学習状況を把握して、今後の授業や生活習慣の改善に役立てること」を目的として行われています。なお、本調査によって測ることができるのは、あくまでも「学力」の特定の一部、学校の教育活動の一側面のみであることは、ご承知おきください。

今回の調査結果から見てきた成果や課題を、学校・家庭・地域で共有しながら、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。

以下、本校の結果とその分析および今後の取組について紹介します。



## 教科に関する調査の結果より

### 教科の平均正答率(%)

	国語	算数
本校	61	66
三重県	67	62
全国	67.7	63.4

本年度は、国語と算数の2教科で調査が行われました。

本校の各教科の平均正答率は、算数は、三重県および全国の平均を上回っていますが、国語については、三重県および全国の平均を下回る結果となっています。また、両教科のすべての問題において、無回答はなく、全員が最後まであきらめずに問題に取り組もうとする姿勢がうかがえました。

日々の授業において、成果が表れたと考えられる部分と、さらに授業改善に取り組んでいく必要があると考えられる部分を学校全体で把握し、今後の授業づくりに生かしていきたいと考えています。今回の結果からわかる主な成果や課題は次のようなものです。

#### 【国語】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるようになってきました。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することについて理解が深まってきました。
- ▲目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することに課題があります。
- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
- ▲日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことに課題があります。

#### 【算数】

- 数量の関係を、□を用いた式にあらわすことができています。
- 直方体の見取図について理解し、かくことができています。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できています。
- ▲問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題があります。
- ▲計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題があります。

## 児童質問紙調査の結果より

児童質問紙調査は、子どもたちの生活や学習の様子などをアンケート形式で問う調査です。昨年度とは質問項目が変わっている部分もありますが、以下に本校の結果の一部を示して特徴をまとめてみました。

※ 数値は、「当てはまる・している」「どちらかといえば、当てはまる・している」と回答した割合の合計(%)

質問項目	本校	三重県	全国
朝食を毎日食べていますか	100	93.5	93.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	87.5	82.1	82.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	75.0	91.6	91.6
自分には、よいところがあると思いますか	87.5	82.4	84.1
将来の夢や目標を持っていますか	100	81.6	82.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100	97.1	96.7
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	75.0	83.8	83.5
放課後や週末に地域の活動に参加している	37.5	5.5	4.4
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか *1時間以上の回答	75.0	50.6	54.6
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、ゲームをしますか *3時間以上の回答	12.5	30.8	30.3

○朝ごはんを毎日食べる習慣が定着しています。朝食を食べることにより、活動に必要なエネルギーが得られ、意欲的な活動につながります。よい習慣を続けていきましょう。同じくらいの時刻に寝ている児童の割合は、県・全国をやや上回っていますが、同じくらいの時刻に起きる割合が県・全国を下回っています。毎日の勉強や運動の効率が高まるよう、規則正しい生活リズムを身につけましょう。来年度からの中学校生活にもきっと役立つはずですよ。

○「将来の夢がある」、「いじめをしてはいけない」の回答がいずれも100%でした。また、「自分によいところがある」の割合も県・全国の割合より高くなっています。自分自身をよく見つめて肯定的に捉え、前向きな生活を送っている様子や正義感を持ち、人にやさしく接しようとする態度がうかがえます。これからもこのような気持ちを大事にしてほしいと思います。

○「地域の活動に参加している」割合が、県・全国と比べてたいへん高い状況です。普段から地域の方々に支えていただき、地域と家庭・学校の連携の中で、たくさんの人とふれあう機会をつくっていただいていることの現れであると考えられます。今後も、さらに地域の活動への参加が増え、たくさんの人から学びながら心豊かに成長してほしいものです。

○「学校以外の勉強時間」について、1日あたり1時間以上は勉強する割合が、県・全国よりも高い結果となっています。また、「1日あたりのゲーム時間」も県・全国の割合よりは低い傾向となっています。1日の生活時間帯を有意義に過ごしている児童が多いと考えられます。

▲これまで記述したような状況がある一方で、「学校以外の勉強」にあまり時間をかけていない様子や、「1日あたりのゲーム時間」が長いという様子も見受けられます。家庭でのスマホやゲーム等の利用の仕方について見直し、勉強に十分にに取り組める環境をまず整えておく必要があります。

### 今後の取組について

本校児童の課題として、「実際の体験（生活体験や話す・聞く活動、読書や実験・観察など）を通してわかったことをまとめたり、資料を整理したりする活動の充実」と「反復学習による基礎・基本の定着」があげられます。「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善や、少人数ならではの「きめ細かな」学習指導などは継続しつつ、補充学習やeライブラリー等を活用して反復学習の充実に取り組んでいきます。また、様々な活動を通してわかったことをまとめ表現する機会の充実を図ります。ご家庭におかれましても、家庭学習の習慣や基本的な生活習慣の改善に向けて、学校と連携した取組をお願いします。